

## 第3回 代表者研修会報告

日時：令和5年2月14日（火）14：00

会場：静岡県コンベンションツアースセンター「グランシップ」

司会：白柳副会長

### 1 あいさつ

#### (1) 静岡県養護教諭研究会

鈴木 理香 会長

皆様こんにちは。本日はお忙しい中、御出席いただきありがとうございます。

未だ感染の続く新型コロナウイルス感染症の第8波とインフルエンザの同時流行の中、皆様の学校の様子はいかがでしょう。連日、感染症対応と合わせて、保健室に来室する児童生徒の対応に追われているのではないのでしょうか。

さて今年度も、コロナ禍が続く中、感染状況に合わせた運営を模索した年でありました。そんな中で研究会のテーマである「子供たちの幸せのために学び続ける養護教諭」を目指して取り組んでまいりました。

冬季研修会では「『予測困難な時代』における子供の心のケア」と題して、静岡大学教育学部小林朋子教授に御講演をいただきました。災害時における心のケアを中心としたお話でしたが、心理的ケアの理論を学ぶことで、日常の子供たちへの対応やコロナ禍における心のケアにも活用できる知識や支援の方法を学ぶことができました。また今年度も冬季研修会はオンデマンド配信とし、視聴には研究会HPの会員ページからアクセスする方法を取りましたが、最終視聴回数は918回と、大変多くの方が冬季研修会に参加してくださったことも嬉しく思いました。講演がオンデマンドであったため、視聴中に保健室への来室があっても、一旦止めてまた途中から聞くことができたり、期間中に何度か講演を聴き直したりする konnten という声が聞かれました。視聴回数が会員数を上回った理由については、会員の皆様が小林先生の講演をこれからの執務に生かそうと、オンデマンドの利便性を有効に活用してくださったからだと考えられます。

この冬季研修会のアンケートのまとめ、また本年度の活動反省のまとめについては、この後の協議の中で、報告をさせていただきます。活動反省のまとめについても、会員の皆様からは多くの御意見をいただいておりますが、役員への労いの言葉とともに、今後の研究会の組織や運営に対する御意見もありました。貴重な御意見を真摯に受け止め、次年度の研究会の運営に生かしていきたいと思っております。

最後になりましたが、御多忙の中、静岡県教育委員会健康体育課教育主幹 富田宏美様、県学校保健会事務局長 細田英夫様、顧問校長 長谷川延明様に御出席をいただい

ております。 本日も御指導を、よろしくお願いいたします。

それでは、短い時間ではございますが、御協議の程よろしくお願いいたします。

**(2) 静岡県養護教諭研究会顧問校長**

**長谷川 延明 校長**

皆さんこんにちは。本日は遠方からお集まりいただきありがとうございます。日頃より子供たちのためにいろいろな部分で気を遣いながら動いていただいている養護教諭の皆さんへ県の校長会を代表してお礼申し上げます。ありがとうございます。

今、各学校は卒業式をどのような形で行うかということが話題になっているのではないかと思います。本校でも、昨年まで合唱を控えていましたが、今年度、どのような形で合唱ができるのか文部科学省からの通知を確認し協議をしながら決めていきたいと思っています。各校でも管理職から相談があると思いますので、養護教諭の思いや各学校の実態等を踏まえて意見をさせていただきたいと思います。本校は、保護者にはマスクの着用をお願いしますが、子供たちが最高の卒業式になるようにマスクの着用の有無については、御家庭で十分に話し合いをして臨んで欲しいこと、また、着用の有無について子供たちが嫌な思いをすることがないように説明をしていきたいと考えています。中学校区の小学校とも共有をしながら進めていきたいと思っています。

御前崎市は7校の学校がありますが、養護教諭が長年取り組んできた成果を、はごろも教育研究奨励賞に応募しグループ賞を受賞しました。成果をまとめて発表していくということが次の世代の「学び続ける養護教諭、やってみよう」に繋がるよう本市の養護教諭達が実践してくれて嬉しく思います。各地区での皆さんのご活躍を期待しております。

**(3) 静岡県教育委員会健康体育課健康食育班**

**富田 宏美 教育主幹**

日頃より学校保健に御尽力いただきありがとうございます。

2月に入り、新型コロナウイルス感染症が治まりつつあるのを感じていますが、インフルエンザによる学級閉鎖は増えてきています。昨年度、一昨年度とインフルエンザが流行っていませんでしたので、そこから比べるとかなりの数が出ています。小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の学級閉鎖の様子を見てみると、コロナの時に比べて欠席者・罹患者の数がかなり多い状況です。閉鎖の基準として20%という数字も挙げられているため、もともと多いのかもしれませんが、驚くような人数が挙がってくることもあります。まだまだ寒く乾燥した日が続きますので、引き続き感染症対策にも気を付けていただきたいと思います。

**(4) 静岡県学校保健会**

**細田 英生 事務局長**

日頃より本会の事業に御支援御協力を賜りお礼申し上げます。皆さんに支えられて本年度も無事に事業を進めることができました。

学校保健会事務局を担当し5年目を迎えますが、常々、保健会の事業は養護教諭の先生方に支えられてきたと感じております。皆様のお力添えが無ければ本会の事業は成り

立たないと思っております。特に研究会の役員・理事の皆様を中心とした研究会の組織力にはいつも感心しております。ありがとうございます。

本日は、資料を用意いたしましたので本年度の事業経過について報告させていただきます。

(※以下の数字は、令和4年度学校保健会事業報告の項目番号)

#### 1 第61回静岡県学校保健研究大会

11月17日、富士市ロゼシアターで開催しました。3年ぶりの対面方式で開催することができよかったですと思います。富士市の先生方には大変お世話になりお礼申し上げます。資料がありますのでお時間があるときに御覧ください。

#### 2 (1) 第44回中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会

昨年度に引き続きオンラインで開催しました。発表校は5校のうち1校は誌上発表でした。昨年度・今年度とオンラインで開催しましたが、参加者同士のコミュニケーションも十分取れるので、今後もオンライン開催でも良いかと考えています。

#### (2) 第51回学校保健新聞コンクール

22校の応募がありました。審査結果を載せてありますのでご覧ください。

#### (4) 第44回関東甲信越静岡学校保健大会

オンラインで開催されました。本県からの参加者は37名で、県立韮山高等学校の工藤先生が実践発表をされました。

#### (5) 令和4年度全国学校保健・安全研究大会

ハイブリッド方式で開催されました。大会の中で文部科学大臣表彰があり、本県からは浜松市立平山小学校と薬剤師の秋山先生が受賞されました。

#### (6) 全国学校保健会中央大会

本年度の国への要望事項として、そこにあります①から④のテーマについて協議されました。この件については、国の「養護教諭及び栄養教諭の資質能力向上に関する調査研究協力者会議」も「議論の取りまとめ」を公表しています。文部科学省HPにありますので是非お読みください。

#### 3 歯科保健と環境衛生活動に関する調査

御協力いただきありがとうございました。

#### 4 表彰

例年通りの表彰を実施しました。日本学校保健会の全国健康づくり推進学校表彰では、函南町立丹那小学校が優良校を受賞しました。

#### 8 日本学校保健会関係

調査について御協力いただきありがとうございます。

最後に一つお知らせをします。

静岡県予防医学協会では、第53回学校保健セミナーを3月9日にグランシップで開催いたします。オンデマンドでも視聴できますので是非御視聴ください。

今後も本会の事業について御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

## 2 静岡県教育委員会所管事項

(資料 配付済み)

静岡県教育委員会健康体育課健康食育班

富田 宏美 教育主幹

前回伝えた所管事項から更新等があるものにポイントを絞って伝える。

### 1 ページ目

#### 1 保健管理 (1)感染症への対応 ①新型コロナウイルス感染症 (ウ)マスクの着用について

既に報道されているように、令和5年2月10日付 4文科初第2153号「卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方について(通知)」が出され、2月10日に情報提供という形で、各市町教育委員会に通知がされた。卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な方針について、具体的に示されている。

4月1日以降のマスクの着用については、「学校教育活動の実施に当たっては、マスクの着用を求めないことを基本とする」とされていて、これらに係る留意事項等については、改めて通知される。学校におけるマスク着用の考え方の見直しについては、令和5年4月1日から適用することとされているため、3月31日までの年度内における卒業式以外の学校教育活動においては、従来どおり、衛生管理マニュアルや関連する事務連絡等を踏まえつつ、メリハリのあるマスク着用をする。

### 4 ページ目

令和4年10月19日付事務連絡以降を付け加えた。

10月19日付「同時流行を見据えた対策」では、季節性インフルエンザとの同時流行を見据え、検査結果を証明する書類や診断書等を求めないこと、11月29日付「基本的対処方針の変更等について」では、給食において黙食を求めないことが通知されている。今後、新型コロナウイルス感染症への対応に関する新たな通知が出てくると思われるため、注視してほしい。

### 5 ページ目

#### ウ インフルエンザ施設別発生報告

インフルエンザによる学級閉鎖等を行った場合には、報道機関に情報が提供され、情報公開されている。例えば静岡新聞では「〇〇市の小学校 患者数△△人」と記載されている。

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に流行した場合には、インフルエンザによる欠席者が20%を占める等により校長がインフルエンザによる臨時休業と判断した場合は、インフルエンザとして報告する。その後、新型コロナウイルス感染症が増えて、インフルエンザによる学級閉鎖ではなくなった場合にも訂正や再報告の必要はない。

### 6 ページ目

#### 2 保健教育 (1)薬物乱用防止教室 ③令和4年度薬学講座基本方針

令和4年度の薬学講座の実施期間は、2月24日(金)までとなっている。なお、令和5年度の薬学講座基本方針は、今週、市町教育委員会に発出し、来週には学校に届く見込みである。方針は今年度と変更はないが、確認し来年度の学校保健計画への位置づけをする。

### 7 ページ目

### 3 その他 養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議 議論の整理

令和5年2月1日付 教健号外にて「議論の取りまとめ」を発出した。議論の取りまとめは、前回出された「議論の整理」から内容に大きな変更はなく、文言の整理等がされている。別添資料として、養護教諭に求められる役割、ICT活用に関する事例、栄養教諭との連携について、具体的に示されている。目を通しておく。

#### その他（所管事項に記載されていないこと）

##### (1) 歯科保健活動について

公益財団法人ライオン歯科衛生研究所の取組について2点紹介

##### ア 第80回 全国小学生歯みがき大会について

『全国小学生歯みがき大会』は、毎年、「歯と口の健康週間」に小学5年生を対象に行う。『大会』という名前であるが「歯と口の健康週間」の期間中の好きな時間に、各学校にてDVDの教材を見ながら学ぶものである。新型コロナウイルス感染症も踏まえて、歯みがきの実習は家庭で行う、手の爪を歯に見立てて行うことも可能。さらに歯肉炎の原因や予防方法、デンタルフロスの使い方も学ぶことができる。歯ブラシやデンタルフロスも児童分、提供される。申込期間が、令和5年2月28日までとなっているため、是非参加を検討してほしい。

##### イ 小学生対象の歯と口の健康教育プログラムである「kids 歯ッカソン」について

「kids 歯ッカソン」は、小学校3年生から6年生を対象の、歯と口の学習を主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）で実践できる、健康教育プログラム。出前授業ではなく、プログラムをダウンロードして、学校で授業を行うものである。

健康教育を専門とする東海大学 体育学部体育学科教授 森 良一先生が監修され、歯と口に関する課題を発見し、健康の大切さを理解するとともに、それを自分の生活や行動にどう生かすかという学習が、2時間から実施できるプログラムになっている。

申込期限や実施期限は設けられておらず、年中いつでも申込や実施ができる。HPには、実際の授業のダイジェスト映像も掲載しているため、是非確認してほしい。

詳しい説明の希望や質問等がある場合は、個別訪問、電話、オンラインで説明していただくことも可能ということなので「kids 歯ッカソン」事務局へ直接問合せをする。

##### (2) 県教育委員会社会教育課作成の「ふじのくに i マップ」について

例年8月の養護教員講習会にて配布していたが、今年度は開催方法の変更により、配布することができなかった。市町教育委員会を通して各学校に配布するため活用してほしい。

また、早い時期からの活用を促すため、今後は8月の養護教員講習会で配布するのではなく、出来上がり次第、市町教育委員会を通して配布する。

##### (3) 伝達講習の動画視聴について

以前にも現在準備中と伝えたが、今年度中に YouTube で動画視聴ができるようにする。20～25分程度の動画である。

### 3 議事

(資料 配付済み)

#### (1) 令和4年度静岡県養護教諭研究会冬季研修会の反省

山田幹事

○「予測困難な時代における子供の心のケア」は参考になったか。

とても参考になった…87.5% 参考になった…12.5%

○Web マナーを意識して参加できたか。

意識していた…98.9% 少し意識していた…1.1%

- ・熱い思いが伝わる感想を多数いただいた。
- ・定期的に繰り返し小林先生のお話を聞くことが大切である。
- ・災害時の心のケアについて養護教諭として何ができるのか、どんな準備をしておいたらよいのか、そしてそれを組織の一員として校内でどう働きかけていったらよいか考えることができたという内容が多かった。
- ・もう一度聞きたいことを巻き戻すことができるためオンデマンド配信はとても有効だと感じるという意見が多かった

<いただいた御意見に対する回答>

- ・「災害対策支援ハンドブック」の入手先について  
→「静岡大学教育学部小林朋子研究室」のホームページからダウンロードして活用することができる。

#### (2) 令和4年度静岡県養護教諭研究会活動反省

各担当

ア 令和4年度・5年度テーマ「子供たちの幸せのために学び続ける養護教諭」について

○実践に生かすことができたか。

できた…99.5% できなかった…0.5%

- ・概ねよい。

イ 地区代表者研修会について

○地区代表者研修会の内容を把握することができたか。

できた…99.9% できなかった…0.1%

- ・伝達したものを一人一人がきちんと理解しようとしていることが分かった。

ウ 調査研究について

○実態調査は参考になったか。

参考になった…99.7% 改善したい…0.3%

- ・毎年の調査の積み重ねが説得力につながり貴重な資料である。
- ・集計を外部に委託する、印刷を業者に依頼するなど負担軽減に努めているところがある
- ・保健学習・保健指導という表現については検討する。

エ 会誌「たちばな 65号」について

○編集内容はどうだったか。

よい…99.5% 改善したい…0.5%

- ・全部の意見を載せることはできなかったが、項目ごとにまとめた。
- ・80周年記念号として、夏季研修会でのシンポジウムの報告や林先生の寄稿文を載せたが、それに対する熱い思いがあふれた意見が多かった。
- ・保健室紹介、3年ぶりに復活した研究のあしあとが大変好評で継続してほしいという意見が多数あった。
- ・内容の精査、隔年の発刊などのスリム化を進める意見があった。
- ・会員の皆さんからたちばなを読んだ感想や意見をたくさん出していただき、担当の励みになった。

オ 静岡県養護教諭研究会のホームページについて

○アクセスしたことがあるか。

ある…87.7% ない…12.2%

- ・調査が冬季研前であったため、冬季研修会後であればもう少しアクセスした人が増えていたのではないか。

○内容はどうだったか。

よい…98.4% 改善したい…1.5%

- ・保健室訪問・掲示物へのアクセス数が多く、大変参考になっていると好評である。
- ・昨年度リニューアルをしたため見やすくなったという意見が多かったが、もう少し見やすくなるようにという要望もあり、検討していきたい。
- ・開かないページがあるという意見については、各地区のセキュリティーや ICT 環境の問題もあるため、研究会としての対応は難しい。

カ 会報「きんもくせい」について

○発行されるごとに読んだか。

読んだ…99.2% 読まなかった…0.7%

○会員の相互理解に役立ち、情報等参考になったか。

参考になった…99.6% 改善したい…0.4%

- ・巻頭言の役員のことばを楽しみにしている、他地区の様子を知る良い機会になっているという意見が多数あった。
- ・現在年4回発行している。以前は6回だったが一昨年度に発行回数の見直しをした。
- ・内容や発行について、今後も改善できるところはしていきたい。

キ 研修会におけるスマホ、タブレットの使用について

○今後の研修会で、個人のスマホやタブレットを使用することができるか。

できる…83.4% できない…16.3%

- ・できない理由として、個人用を使用することへの抵抗感、通信料、環境の問題などが

挙げられた。

- ・できる場合も、アンケートの提出程度ならよい、研修の全部ではなく部分的な使用であればよいなどの答えが多かった。

#### ○スマホやタブレットを使用した研修会に抵抗感があるか。

ない…75.2%    ある…24.8%

- ・抵抗があるという意見の中には、参集の研修会とは違った集中力が必要なため、この形態が多くなっていくのは不安であるなどの意見があった。
- ・養護教諭用の端末が配付されていない地区もあるため、オンライン研修については考慮していく必要がある。

#### ク 養護教諭に関することで、今一番関心のあることや研修したい内容

保健管理… ICT活用    救急処置・フィジカルアセスメント

保健教育… 性の多様性・LGBTQ、ICTの活用に伴う子供の健康問題

健康相談… 不登校支援、保健室登校、メンタルヘルス

コロナ関係…子供たちへの影響

その他…働き方改革、ワークライフバランス

#### ケ その他

##### (ア) 夏季研修会、冬季研修会について

###### ○開催方式について

オンライン、もしくはオンデマンド、ハイブリッド形式がよい…55名

(学校を離れなくてよい。移動にかかる時間や労力を減らせる。時間や旅費の面から研修会に参加できる機会が増える。視聴のタイミングが調節でき、落ち着いて研修ができる。メモが取りやすいなど)

参集・対面形式がよい…9名

(対面で聞くことで心に残り充実度が違う。先生方と直接会い話せる場があることが素晴らしいなど)

- ・コロナ禍で、オンラインで研修を柔軟に受講できる良さを体験し、研究会としても状況に合わせた開催方法の選択肢を得ることができた。

###### ○内容、その他について

- ・夏季研修会は、会員にとっても節目となる心に残る研修となった。
- ・夏季研修会の実施時期に関する質問について  
→夏期研修会の開催時期は研究会では決められない。県教委が、他の研修会との調整、会場の予約状況などを考慮し決定しており、希望通りにならないこともあり、冬季研修会についても同様である。資料の事前配付についても講師の都合があり、会員の意見に添えない場合が多い。御理解いただけるよう、理事から会員へ伝えていただきたい。

### (イ) 研究会の組織、役員に向けて

- ・職務の多忙化や、これからの年齢構成の変化から今後の研究会のあり方を心配し、活動の精選や内容の見直しの必要を感じている方もおり、厳しい意見、具体的な意見をいただいた。
- ・研究会としても養護教諭の資質向上を目指し、時代に合わせて研修会の開催方法を検討したり、HP をアップデートしたりしながら運営をしている。また来年度についても、すでに検討を始めている項目もある。皆様の思いを今後の運営に生かせるよう研究会としても参考にさせていただき考えていきたい。

### (3) 各委員会から (別紙)

#### ① たちばな編集委員会より

中村委員長

- ・令和4年度は編集委員会を5回実施した。例年6回～7回の編集委員会を実施していたので少し回数を減らせた。コロナ禍のため2回は役員のみとし、多くはメールのやりとりで編集作業を進めた。
- ・ホームページの活用が進むと思われるので、静岡県養護教諭にとって必要な情報を精選しスリム化を進めていきたいと考えており、たちばな66号について検討を始めている。
- ・令和5年度は、たちばなと事例集が同時期発行になるため、早めに準備を進めて、スムーズに発行できるようにしたい。

#### 【依頼】

- ・研究のあしあとを継続するにあたり、「各種研究論文受賞者の調査」を理事の皆様をお願いする。あがってきた方全員に原稿依頼をすることはできないので、調査ということでお願いする。3月24日までに静岡市立清水第八中学校 中村までメールまたはFAXで提出。

#### ② 「実践事例集18」について

山村委員長

- ・「養護教諭が行うICTの活用実践」の編集に向けて、本年度は現在まで5回の編集委員会とICT実技研修会を行った。
- ・今後の実践に役立つ事例集となるよう編集作業を進めている。事例提供にあたり、理事の皆様、会員の皆様には御協力をいただいた。大変多くの100例を超える事例が集まり、現在編集作業を進めている。

#### 【依頼】

- ・ICT活用に関するアンケートのお願い

このアンケートは、会員の実態をまとめ、事例集に掲載すると共に事例集の編集に役立てたいと考えている。GIGAスクール構想に伴い導入された端末(Chromebook、iPad、Windows 端末等)について、配付状況や活用状況、問題点などを調査する。調査方法は、実態調査に準じて行う。

### ③ 調査研究委員より

中島委員長

#### 【印刷・製本を業者委託にしていることについて】

- ・印刷製本を業者委託にしたため、我々の負担軽減につながった。
- ・実態調査の莫大なデータの修正作業を、外部協力者にも携わっていただいているので安定したデータ管理に繋がっている。

#### 【調査を Forms で実施してはどうかという意見について】

- ・現在準備中。設問数が多いこと、枝葉に分かれて回答することが多いという所が難所になっている。対応できるものを現在開発中。
- ・今年度は間に合わないため従来通りの調査を実施する。

#### 【前年との変更点】

##### ○「インターネットに接続できるパソコンが保健室にあるか」

→「保健室で ICT 機器をインターネットに接続して仕事ができる環境にあるか」

理由…市町によってパソコン事情は様々で、パソコンが常に保健室にある所、職員室にある端末を、毎日保健室に移動して仕事をしているところなど、様々であることが分かった。パソコンを常設している・していないに関わらず、保健室内のネット環境がどうか、使用できるパソコンがあるか、という点について調査することとした。

##### ○「養護教諭がオンラインによる研修を受けられる環境にあるか」に注意書きを付記

理由…「環境」と言うと、パソコンはあるのか、Wi-Fi は繋がっているかといったハード面だけがクローズアップされがちだが、それだけではなく、養護教諭が校内でオンライン研修をしていると、傷病者等の対応で呼ばれてしまう勤務時間外でないとオンデマンド視聴をすることができない等の養護教諭の実際を調査したいと思い「環境」の意味を定義した。

#### 【今後の日程】

2月16日(木)…事務局から理事にデータ送信、その後各理事より会員に送信

3月上旬 …調査実施 (ICT 活用に関するアンケートを含め3種)

基本調査Ⅱの回答者は3月1日現在の勤務者

3月15日(水)…理事はパスワードをかけて富士宮市立富士宮第一中学校へ提出

### ④ ホームページアップ編集委員会

白柳委員長

- ・冬季研修会がオンデマンドになったため、会員には URL や QR コードからホームページにアクセスしてもらい視聴やアンケートを実施した。
- ・新着情報から必要ページにとべるよう改善した。スマートフォンからもスムーズに見られるように改善していきたい。

### ⑤ 組織検討委員会より (資料なし)

道上委員

- ・政令市には所属のあり方について考えてもらっている。来年度についても静岡市、浜松市を含めた現状の組織で活動していく。

### ⑥ 役員選出委員会より

道上委員長

- ・幹事、書記について、今後は静東・静西・静岡・浜松の4地区から選出していく。(旧西部地区の負担を減らすため)

- ・令和6、7年度は静東が会長になる。幹事については6名が基本だが選出の難しさがあれば5名で対応をする。

#### 4 連絡・報告事項

##### (1) 令和5年度会員名簿の作成について

土屋書記

- ・事務局より本年度の理事に①②③のデータを配布する。
- ・会員名簿Bについては、提出日・提出先を記入し会員に配布する。
- ・特休取得中の会員を含め、配布漏れ・回収漏れがないようにする。

##### 【依頼】

- ・令和5年度の地区名簿担当者への引き継ぎはパスワードを含め確実にお願いしたい。
- ・令和4年度の地区名簿担当者が作成した名簿は年度末に削除をお願いしたい。
- ・令和5年度の地区名簿作成担当者は3月23日(木)から4月3日(月)に名簿担当土屋にメールを送信する。確認ができてから名簿作成に進めていく。

##### 【令和4年度 会員数について】

- ・静岡市立両河内小中学校(小中一貫校)が養護教諭2名でスタートしたが10月1日より1人となった。1名は身分替えがなく市内小学校に勤務されているため会員数の変更はない。

##### (2) 会報「きんもくせい」について

道上書記

- ・134号を発行したので会員へ配布をお願いしたい。
- ・136号の地区紹介は駿東地区、榛原地区なので、来年度原稿依頼をしていく。

##### (3) 令和5年度理事氏名の報告・理事依頼事項について

鈴木久事務局

- ・継続の理事を含め令和5年度の地区理事を3月24日までに焼津市立港小学校までメールで報告をお願いしたい。
- ・依頼事項について一覧を作成したので、確認をお願いしたい。  
調査研究の期日は3月15日(水)に変更

##### 【追加】会計より (資料なし)

伊藤会計

- ・地区の皆さんのご協力により、申し込み・集金等が滞ることなくできた。
- ・年度入会からの会員についての連絡も頂いた。

##### (4) 各地区から 特になし

##### (5) その他

- ア 公立学校共済組合静岡支部保健事業検討委員会より
- イ 全国養護教諭連絡協議会第28回研究協議会について

鈴木理会長  
鈴木久事務局

令和5年度第1回代表者会で紙面報告

ウ 退職養護教諭会（みどり会）について

みどり会 大沢富子会長、鈴木朝子副会長

- ・9月の総会では、研究会より80周年記念式典で流した映像の紹介があり、後輩の活躍ぶりとかつての自分たちの姿を重ね合わせ、感慨深かった。
- ・現職の研究会の皆さんの動き、県教育委員会との連携・御指導御助言はOGの私たちにとって本当に貴重なものである。私たちが現職時代に様々な場面で感じてきた「連携と協働」「情報の共有」「資質の向上」「仲間づくりや支え合い」等が本県の養護教諭の力となり、全国的にも大変優れた力となっているのだと改めて感じている。
- ・みどり会活動内容についてのお知らせ（※別紙）

エ 研修報告 全国学校保健安全研究大会（紙面報告）

中島副会長